

平成19年度 施政方針の概要

『ひと・もの・自然，調和が奏でる 躍動のまち，大崎町』の実現に向けて



大崎町長 東 靖弘

平成19年度の町政運営についての所信表明と、平成19年度予算の概要をご説明申し上げます、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日本経済は、息の長い景気回復が続いていると言われておりますが、地域間における不均衡は著しく、本町のような都市部から遠い過疎の地域においては、景気回復を実感するに至っていない状況であるように感じておりますし、地方自治体を取り巻く財政的環境は依然として厳しいものがございます。

このような状況の中、国においては「地方にできる事は地方に」という理念の下に、地方の権限・責任を拡大し、魅力ある「強い地方」を創るための地方分権を一層推進していくこととしております。これらの方針を受けて、鹿児島県においては、「持続可能性への挑戦」「産業おこしへの挑戦」「鹿児島おこしへの挑戦」という3つの挑戦を掲げて「力みなぎる・鹿児島」の

実現に向けた取り組みを進めることとされております。

本町におきましては、現段階での最重要課題であります市町村合併問題につきまして、昨年11月に実施いたしました「大崎町の市町村合併に関する住民アンケート」の結果をふまえて、平成22年3月までを期限とする合併新法の期限内での志布志市との合併実現を目指して誠心誠意つとめてまいり所存でございますが、それまでの間も、行政と議会、そして町民の皆様との協働により、素晴らしい人材と自然や文化を生かした、魅力ある町づくりに取り組み、「ひと・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち、大崎町」の実現に向け、「農林水産業や商工業を中心とした地域の活性化」、「町民の安全・安心の確保」、「少子化の中、将来を担う子ども達の教育環境の整備」、「優良農地の保全・確保のための基盤整備」、「地域共同による農地・水・環境保全向上活動」、「分権型社会に対応できる健全で的確な行政運営の推進」等に関する事業を重点施策として推進してまいります。

このような考えで編成いたしました平成19年度的一般会計および特別会計の予算総額は123億8、226万円で、

対前年度比で8・1%の増となります。

それでは、主な施策等について申し上げます。

『農林振興関係』

まず、水田農業関係につきましては、本年産から農業者・農協などの農業者団体が主体的に行う新たな需給調整体系に移行することとなりますので、町としましては生産者の方々に混乱が生じないよう配慮をまいりますとともに、「大崎町病害虫防除対策連絡協議会」による適正防除を行い、安全で良質な売れる米づくりに努めてまいります。

営農推進関係につきましては、畑地かんがい用水の一部通水に向け、曾於南部土地改良区への加入推進と、水利用によるお茶の新植や野菜産地の形成に努めるとともに、水利用作物の生産から販売までの総合的な支援対策を、関係機関と連携をとりながら進めてまいります。

また、本年度から導入されますでんぷん用甘しよの経営所得安定対策への対応と野菜の価格安定対策にも早急に取り組んでまいります。

一方、消費者の安全・安心な農産物への関心や、食の健康指向への対応策として、減

農薬に取り組むエコファーマーの育成など、「環境にやさしい農業」の普及推進にも努めてまいります。

次に、畜産関係におきましては、畜産農家の経営安定を図るため繁殖雌牛更新対策事業等を引き続き実施し、優良な繁殖家畜の導入を推進してまいります。

水産振興につきましては、漁業関係者と一体となって資源管理型漁業を推進し、漁業の経営安定に努めてまいります。

『耕地課関係』

長田地区の水田ほ場整備は、本格的な面工事に入っておりますが、本年度は小能地域の5haを予定しております。

また、農村振興総合整備事業で、農業用排水路工事および環境保全型排水工事を計画しておりますが、岡別府地区のほ場整備事業として、持留川の左岸地域7・8haの整地工事も行いう予定でございます。

次に、国営畑かん事業につきましましては、輝北ダムの中央管理所が本年度完成の見込みであるとともに、永吉原ファームポンドや野方ファームポンドが着工予定でございます。

また、県営畑かん事業では、中部台地、菱田地区の一部お